



発行者: 生活クラブいなげビレッジ虹と風共同事業者

生活クラブ風の村/生活クラブ虹の街/暮らしサポートクラブ/VAICコミュニティケア研究所/ワーカーズ・コレクティブ磯/ワーカーズ・コレクティブまどれーぬ

シリーズ: 「生活クラブいなげビレッジ虹と風をご紹介!」 その4

「生活支援有償サービス」

NPO法人 VAICコミュニティケア研究所では
住み慣れた地域でその人らしい暮らしが安心してできるように
介護保険制度などではまかなえない生活支援サービスを提供しています。

<家事援助>

住居の掃除・衣類の洗濯・食事の支度・買い物など
身体の調子が悪くて家事をするのが大変。
部屋やトイレのそうじをお願いしたい。



<見守り・話相手>

家族の外出時に一緒に過ごす。
家族が外出の際、家に1人になるので心配。
話相手になって欲しい。



例えば、こんな依頼に対応します!

<産前・産後サポート>

産前産後の家事の手伝い(育児は含みません)
二人目を出産して退院してきたばかり。
子どもの世話でご飯を作る時間もないため、食事
の準備と後片付けをお願いしたい。



<外出付き添い>

ひとりで外出が不安な方の通院や散歩・買い物など
膝痛のために歩くことに不安があるけど、買い物に
は行かなくてはいけないから、付き添って欲しい。



<病院内付き添い>

外来受診時に病院内の付き添いをお願いしたい。
入退院時の荷物の整理や病院への付き添いをして欲しい。



<利用時間>		
AM8:00~PM6:00		
<利用料金>		
平日	1時間	1,200円
土・日・祝日	1時間	1,500円

地域をつなぐ 特定非営利活動法人
VAICコミュニティケア研究所

✿ ケアスタッフ募集 ✿

上記サービスのスタッフを
募集しています。
お気軽にお問合せください。

どなたでもご利用できます。
まずはご相談ください! ☎043-290-8015



No.7 「(通称) かあちゃん青果」

住所: 稲毛区園生町1108
電話: 043-252-3339

休業日: 日曜日・祝日



昭和56年頃に開店した「かあちゃん青果」の街の様子が変わり続ける中、30年以上経過した今も、変わらない佇まいとスタッフが、街と、街に住まう人々を見守り続けている。

「おはよう」「おかえり」自分たちから声をかけ続け、今では子どもたちから声をかけてくれるようになった。

お店には少し珍しい果物なども並べられ、買物に来る人の年齢層も幅広い。それでも、以前に比べると高齢の方が増えているという。

重たい荷物を買った方には「後で届けるよ」と声をかける。一人暮らしの方には、「買わなくてもいいから話をしに来なよ」と声をかける。中には、遠方からわざわざ車で買いに来る方がいるのも頷ける。

ショッピングモールなどの便利な買物処が主流となりつつある今の世の中で、店に入るためにドアをくぐらず、通りすがりに声をかけあえる。この店を見ていると、そんな昔ながらの店構えこそが、失われつつある地域の絆を結びなおすカギとなるように思える。

住民同士が交流できる場&企画

あみいこ

※車での来場はご遠慮下さい。

VALCコミュニティケア研究所

Tel. 043-290-8015

★デジカメ教室★ ¥800

2/12(水) 10:00~12:00

場所: 会議室宙

手持ちのデジカメで

ベストショット。

写真のコツをアロから

教わります!

★ヨガ教室★ ¥800

2/18(火) 10:00~12:00

場所: 地域活動スペース虹

無理なく日常に

取り入れられる

ヨガを行ないます。

★男の料理教室★ ¥1,800

2/19(水) 10:00~13:00

場所: 地域活動スペース虹

お昼ごはんやおつまみを

気軽に一人で作れるよう、

料理の基本を楽しく

学びます。

★日赤救急対応教室★

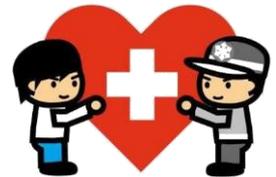
2/22(土) 10:00~13:00 ¥500

場所: 稲毛区保健福祉センター3階 (千葉市社会福祉協議会稲毛事務所)

救急車や助けが来るまでの短い時間が生死を分けます。

いざという時に、大切な人の命を守れるように、日本赤十字千葉支社の指導で心臓マッサージやAEDの使い方を学びます。

※前半は講義、後半は実技です。



デポ一園生企画

～魚さばき方講座～

2/17(月)

10:30~12:30

参加費: 400~500円



鯖寿司や鯖のつみれ汁などをつくる予定です!
託児を希望の方は、下記までお問合せください。

申込〆切: 2月13日(木) 連絡先: Tel. 043-290-0090

<編集後記>

厨房で働き始めて2年。料理の腕はちっとも上がらないうちに、隣の空き地と元NTTの建物は徐々に建物が経ちつつあります。今後、半年もすると、料理の腕は相変わらず変わらないうちに、十年くらいは変わらない固定した風景が見られることでしょうか。(じ)

